

TRICOLOR

HAPPY FOOTBALL DAY

2月11日にトップチーム選手主催の「HAPPY FOOTBALL DAY」を行いました。小学生とトップチーム選手混合のミニゲーム大会や、現役Jリーガーのサイン入りグッズの景品などで、参加した子供達とトップチームの選手も楽しい時間を過ごせたことでしょう。

ミニゲーム大会では久しぶりに低学年のプレーを見ることができました。中学年以上はどんな選手がいるのかわかるのですが、低学年はなかなか見る機会がなかったので、上手な選手が沢山いることに驚きました。このまま順調に育って、いずれはトップチームの中心選手になってくれれば、とっても幸せです。

3月20日には「かながわフェスティバル」があります。ここには全てのカテゴリが集結しますので、トップチームの選手達が皆様とさらなる交流を深められ、身近な存在になることができれば、トップチーム選手達にとってもとても大きな財産になることでしょう。

4月下旬よりリーグ戦の新シーズンが始まります。お忙しいとは存じますが、皆様には是非とも応援に来ていただき、「身近な存在」の選手達に力を与えていただけるよう、お願い申し上げます。



第5回大人のための学年対抗フットサル大会

2/12(日)、みなとみらいスポーツパークにて第5回大人のための学年対抗フットサル大会を開催致しました。小学生クラブ員の保護者の皆様に多数のご参加・ご協力をいただき盛況のうちに無事大会を終えることができました。ご参加・ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。結果は3年生チームの優勝で幕を閉じました。

【最終結果】

1位：3年生、2位：6年生、3位：5年生、4位：4年生、5位：2年生、6位：1年生



<優勝した3年生チーム>

かながわフェスティバル

1年に1度の全クラブ員を対象としたかながわクラブ最大のイベント「かながわフェスティバル」。今年度の日程が決定しましたので下記の通りお知らせいたします。ぜひスケジュールを調整していただきふるってご参加ください。体験の方も参加いただけます。

参加者全員に参加賞も用意してあります。

期日：3月20日(祝・水)

時間：8:00-12:00 (7:30 現地集合)

場所：しんよこフットボールパーク

内容：全クラブ員混合のハーフコートゲーム

対象：全クラブ員



<昨年のかながわフェスティバル>

大会・公式戦結果

Top

【県社会人選手権】

vs 大和 S.Matthaus 0-2 ●

Junior Youth

【県U-15サッカーリーグ】

vs SCH FC-S 0-4 ●

vs 港南台第一中学校 4-1 ○

vs 稲田中学校 0-1 ●

小6

【区少年選手権】

vs FC ビッツ 1-5 ●

vs ダックス 1-2 ●

【横浜栄カップ】

▼予選リーグ

vs FC 南瀬谷 2-1 ○

vs フットワーク 0-1 ●

▼3位決定戦

vs 大磯 SSS 0-1 ●

小4

【A-LINEリーグ】

▼Hゾーン

vs ヘラクレス大磯 3-4 ●

【大豆戸FC招待杯】

▼予選リーグ

vs 大豆戸FC(肉) 4-0 ○

vs 鶴沼 3-0 ○

vs 大豆戸FC(食) 2-2 △

▼決勝戦

vs 大豆戸FC(焼) 4-2 ○

■結果：優勝

小3

【ROOKIE LEAGUE】

▼Aチーム

vs KAZU SC 3-0 ○

vs 大豆戸FC 3-1 ○

vs 駒林FC 2-1 ○

vs かもめSC 1-1 △

▼Sチーム

vs KAZU SC 5-0 ○

vs 公田SSS 8-2 ○

vs 大豆戸FC 8-2 ○

vs 駒林SC 2-3 ●

『かながわクラブと私』第8回

僕は小1の途中から小6までかながわクラブに在籍していました。(現在中3です。)

かながわクラブでは相手の逆をとり、相手をかかわすこと、又無理にボールを蹴らないなど、とても基礎的な事ですが重要なことを学びました。僕はこの教えを常に考えてプレーしています。

約2年前からイギリス(ロンドン)生活が始まりました。イギリスのグラウンドは全て芝生なので、サッカーをしている者にはとても恵まれた環境です。イギリスのサッカーは多くの方がご存知の通り、日本とは違いとてもスピーディーなサッカーです。また、僕はボールが空中に浮いている時間が長く感じます。スピーディーなサッカーからわかるように、多くのチームが中盤省略を主体としていますが、最初の頃はなかなかこのスタイルに慣れることができませんでした。また、言語はもちろん英語なので初めころはコミュニケーションをとることがあまりできませんでした。英語を学ぶとともにこの問題は解消されていきました。

驚いたことはほとんどのプレーヤーがスローインが上手ではないことです。プレミアリーグの選手ですらファウルスローをよくしていると思います。

イギリスに来てとても強く感じたことは、自分のフィジカルの弱さです。イギリスの子どもたちは体格が良く、身体能力も高いです。(チーム加入直後、タックルを受けて鎖骨を骨折しました。)そのため、フィジカルトレーニングをしなければいけないことを痛感しました。ただ日本人にはテクニクという強みがあるので、イギリスに来たら個性を伸ばすかフィジカルを鍛えるかのどちらかだと思います。

最後に、かながわクラブで習ったことは今の僕のサッカーにとっても影響をあたえていると思っています。

(長田哲平)

幼稚園の時からかながわクラブで楽しい2年間をすごしました。(今は小2です。)かながわクラブでゴールを決めたり、試合に出た

り、楽しかったです。

まだサッカーをがんばっています。今はロンドンのMAGIX(マジックス)というチームでプレーしています。僕は、1つ上の学年でプレーをしています。コーチは僕たちに、試合中は仲間同士でコミュニケーションをとること、ずっとドリブルをしないことを言います。プレミアリーグの試合をたくさんみたり、MAGIXでプレーしていると、日本とイングランドのサッカーのちがいがとてもよくわかります。イギリスにはすごいパワーがあって、上手な子がたくさんいます。ユニフォームは水色です。かながわクラブでは背番号は11でしたが、今は12です。

去年の冬にリバプールへ行きました。そしてリバプールの試合をみました。ジェラードを生で見ることができ、僕の夢がかないました。試合は、4-0でリバプールが勝って嬉しかったです。

これからも、サッカーを頑張りたいです。まだ僕はかながわクラブのユニフォームを持っています。僕にとっては、かながわクラブは、すごく良いクラブだと思います。ユニフォームとマークがかっこいいからです。今年の夏に一時帰国することが、楽しみです。そして、かながわクラブでプレーをして、コーチと友達に会いたいです。

(長田夕輝)



今、グラウンドでは・・・

Top

【県社会人選手権敗退】

トップチームは天皇杯予選を兼ねた県社会人選手権を行いました。

2月10日に県リーグ3部の大和S.Matthausと試合を行い、0-2で敗れました。これで今年も天皇杯予選には出場することができませんでした。決して相手を甘く見ていたわけではないのですが、チームとして歯車が合わないときは全体的にうまく試合を運べません。

これで次の目標はベスト4に残っている市民大会と4月から開幕する県リーグへ切り替えです。先日トップチームの新年度へ向けた全体ミーティングを行い、新年度の目標を「県リーグ優勝」とし、全員の結束を固めました。昨年までは関東リーグ昇格を目標にしていたので、トーンダウンかと思われるかもしれませんが、県リーグ優勝すると当然関東リーグ昇格の権利を得ます。自動昇格ではありませんが、各県のリーグ上位チームによるトーナメントに出場し上位2チームが関東リーグへ昇格するのです。現時点では選手の数も昨年よりは少なくなっていますが、全員がチームの戦力であり、全員が同じ目標に向かって戦える選手だけに絞り込んでいます。

昨年のリーグ戦終盤の好調から、他のチームからのマークも厳しくなるとは思いますが、それでも一戦一戦勝つために戦っていきますので、4月からの新年度も応援よろしくお願いたします。

【TOP チームホームページ】

<http://www.kanagawaclub.com/topsteam/>

(中本 洋一)

Youth

かながわクラブのユースを指導する機会を頂き改めて指導の難しさを体験しています。今までの指導経験で初めての体験かもしれません。戦術であれば、どうやって同じ方向を向いてくれるのか、強要ではなくどう

やってひとつの歯車として戦ってくれるか。部員が少ないので、適正なポジションを与えることができない時もあります。全体像を共有することから入らないと、トレーニングしていてもなかなか判断力がつきません。この場合の判断力とは、個人ではなくもちろんグループやチームとしての判断力です。

選手同士も、お互いの特徴を分かっているのではなくは次に繋がらない、例えばボールの持ち方で分かる時もあるし、その状況でパスなのか突破なのか、いろいろと無数にあります。そこに全体像が、共有できていれば判断しやすくなりチームとして機能するし個人も光ってきます。これを日頃のトレーニングに置き換えると、やはり全体をイメージさせながらとにかくプレーさせることです。技術と戦術を切り離すのは無意味な時があるし、ドリル練習が多くなると、フィジカルが上がりません。

ユースの現状は、紅白戦とは言わなくてもせめて8対8・9対9などが出来れば良いのですが、出来ずなかなか先に進みません。そんな中、今来てくれている選手たちは理解し意識しながら取り組んでくれています。いまだに休みがちな選手もいますが、早く同じような意識で取り組んでくれるような選手が、18人くらいになれば良いと考えております。外部からの体験生も何人か参加しておりますが、ジュニアユースの選手も是非ユースを選択しの中に入れてくれたら嬉しいです。

(高 勝竜)

Junior Youth

現在、私はJY担当コーチとは別に、当クラブが文部科学省より業務委託を受けている小学校体育活動コーディネーターとして、横浜市立青木小学校と横浜市立山内小学校に派遣されております。業務内容は体育のアシスタントです。例えば水泳、跳び箱、鉄棒の指導です。サッカー以外の分野の指導は私にとって、初めての経験であり、とてもいい経験となっております。また、そこでの経験がサッカーの指導に活かされていると日々実感しております。例えば、体育の授

業とサッカー教室の違いです。号令や整列、ルールを守ることや順番を待つこと、準備や後片付け、こういった規律が、体育では特に重要視されます。45分間という短い授業時間の中で、時には半分以上の時間が上記のような規律の指導にあてられ、実質、体を動かしている時間が15分から20分となることはよくあります。サッカー教室であり考えられないことですが、体育をはじめ、授業で規律を学んでくることにより、サッカー教室では、コーチがサッカーの指導に時間を費やせるのではないかと考えております。現在私は、体育の指導をしていて重要だと思う点をJYの指導に積極的に活用しております。例えば、集合の際は綺麗な円になること、ウォーミングアップのときには、横縦を合わせて列を揃えること等です。なぜこれらをさせるかという、サッカーでは人の動きに合わせてポジションを取る(OFF THE BALLの動き)ということとはとても大切です。横縦を見て列を合わせられない選手は、試合中でも適切なポジションを取ることができていません。それに対して、声を掛けて列や円を整えようとする選手は周りが良く見えているので、ポジション修正も早いのです。

つまり、いい選手になるには、キックがうまくなる、ドリブルが上手になる、フィジカルを強くする等のON THE BALLのスキルだけではなく、良い状況判断、周りを見る、規律を守る、などのOFF THE BALLのスキルを身につけることもとても重要になってきます。これらのスキルは、学校の体育や日々の生活から得られることも多く、日々の生活をサッカーと関連付けて考える習慣をつけることです。こういった考えができるようになると、プレーの幅も広がり、自然とステップアップしていけるのではないのでしょうか。

(館 洋介)

小 6

【目指してきたこと】

この2年間、トレーニングを通じて君たちに伝えてきたテーマは、次の8つです。

① 常にいいボールの持ち方ができる

② しっかりボールを観てキックができる

③ 両足でボールタッチができる

④ 体をぶつけられても簡単にボールを失わない

⑤ 個人の力で突破してフィニッシュできる

⑥ ファウルをせずに体を上手に使う相手からボールを奪う

⑦ ハイボールの目測を誤らず的確にヘディングができる

⑧ 攻守においてボール以外のものを意識しながらプレーできる

サッカーが上手になるには、やはりサッカーをたくさんやるしかないと思います。毎日少しずつでもよいので、ボールに触る時間を見つけてチャレンジしましょう。そして、うまくできない時には「どうしてだろう、なんでだろう」と常に自分で考える習慣をつけてください。それを繰り返していくことで、技術的な問題は自然に改善されていくはずですよ。

小学生年代のサッカーも残りわずかとなりましたが、伊藤コーチも鈴木コーチも君たちと一緒に楽しい時間を過ごしたいと思っています。

(鈴木 章弘)

小 5

【シュートの意識】

最近のゲームでは点が取れていない状態が続いています。そこでゲーム形式の練習では、ペナルティーエリアの中ではダイレクト以外のシュートは禁止するルールを付け加えました。点を取るにはシュートを打たなければ入らないので、まずはシュートを常に狙う意識付けの部分から取り組んでいます。プレミアリーグのダイジェストを見てもアザールもマタも常にペナルティーエリアの外からシュートを常に狙っているのがよく分かります。

5年生での活動も残り少ないですが、一生懸命取り組んでいきましょう。

【最近のスパイク事情】

先日、久々にサッカー専門店に行ってみました。普段あまりみないスパイクコーナーにいくと各メーカー100gラインのスパイクが増えてびっくりしました。(もちろんお値段も

お高め)普段スパイクを履く機会はほとんどないのですが、ちゃっかり履いてみました。素足に近い感覚で若干違和感がありましたが、サッカー同様にスパイクも時代の最先端をいく感じがしました。その半面、昔からあるスパイクが棚のはじっこにあるのが悲しかったです。皆さんもぜひ色々なスパイクをためし履きしてみてください。

(丸山 祐人)

小 4

前回のトリコロールにも書きましたが、「自分の中から芽生える力」を育てるという観点から、選手の中にある遊心や執着心を今以上に意識出来たり、発揮出来る環境を出るだけ作っていきたくて書きましたが、その手始めとして、2/23(土)の A-LINE&TRM では、早朝の横浜駅での集合から始まり、現地最寄りバス停までの行き方、持ち物の整理、ピブス管理、GK ユニフォーム管理、ウォーミングアップ、先発メンバー決定、選手交代決定まで、全て選手達だけでプロデュースしてもらおうと思い、任せて自分は見守るだけにしました。

最初は慣れない面もあり、始める迄や決める迄に時間がかかったりしていましたが、徐々に全員の意識が一つになって行くのが見られとても頼もしく思えました。自分としても正直もうちょっと時間が必要なのではないかと考えていましたが、結果的には、しっかりとプロデュースし、そして何よりも楽しそうに真剣にチームとしてサッカー&行動していました。

特に A チームの選手達はどちらかというと今まで S チームの選手について行くだけの印象が強い選手が多かった様に見受けられましたが、当日は A チームの選手だけで準備からメンバー決定まで行ったこともあり、私の想像以上の行動やプレーを見せてくれました。試合結果だけを見ると 1 勝 2 敗と決して良い結果とは言えませんが、自分達で積極的に、そして楽しそうにサッカーをし、一つ一つに意思の感じられるプレーが多く、見ている私にもそれがビシビシ伝わってきて、改めて「自分の中から芽生える力」が重

要だと言うことを選手達から教わった気がしました。

翌日の大豆戸招待杯では参加メンバーは約半分でしたが、前日同様の効果が出ていた様に感じました。メンバーは私が決めましたがその他は概ね選手達に任せました。普段の S チームと A チームの混合メンバーで参加しましたが、チーム全体で助け合い、合間の時間も鬼ごっこやら砂遊びをこれでもか?! って位やりまくって、そして試合でも楽しく一生懸命プレーする姿勢がチーム全体に出ており、チーム全員が活躍できた大会になったと思います。決して得点だけではないですが、総得点 13 点で得点者が 9 名いたことが全員が活躍したことを裏付けていると思います。

今回、大豆戸招待杯に参加しなかった選手達は 3/10 にオレンジ CUP があります!! 結果だけにこだわらず、君たちも是非、チーム一丸となって助け合い、楽しく、君たちらしいサッカーして、充実した大会にしてくれることを期待しております!!

(益子 伸孝)

小 3

年間を通して参加している ROOKIE LEAGUE もよいよ 3 月で終了です。かながわクラブは比較的消化試合数が少なかったようで 2 月は A・S チームともに積極的に試合を組んでいただけました。3 月には閉会式や表彰式が計画されているようですので楽しみにしていきましょう。

ROOKIE LEAGUE では、ただコーチの指示に従って動くのではなく自分で考え自分で行動するという力をつけていきかけにしてもらいたいという観点から、ウォーミングアップやスターティングメンバー決め、試合の合間の時間の使い方等を基本的には全て選手たちで行っています。もちろん全てが上手く行っているわけではなく、時間内にメンバーを決められずメンバーチェックに間に合わなかったり、試合開始時間を勘違いしていたり、その他にも問題や失敗の連続です。その都度こちらからアドバイスをし、少しでも子どもたち自身で良い方向に進んでい

けるよう手助けしていきたいと考えております。

試合の内容に関しましてはまだ基本的にはボールに群がるお団子サッカーだし、周りの味方やスペースを有効に使うといったことから程遠い状態ですが、ボールに対する積極性やゲームに臨む姿勢に良い意味での変化が見え始めています。今までどちらかというと消極的だった子たちが積極的にゲームに関与するシーンが増えてきますし、中心となって頑張っている子たちは、より積極的にチームが良い試合をするためには次に何をすればいいのかを考えられるようになってきています。

この良い流れを加速させていけるよう普段の活動から取り組んでいきたいと思っております。

(豊田 泰弘)

小 2

【気持ちの整理】

最近選手達が言い争いをしている場面が多くみられるようになりました。たとえミニゲームでも勝敗にこだわって熱くなってくれているのは、もちろん自分も求めてきたことで、すし非常にうれしいことなのですが、それによって、お互いが嫌な思いをし、サッカーが楽しくなくなってしまっただけでは元も子もありません。相手のうまいプレーを素直に受け止めて、点は取られてしまったがすぐ取り返してやるというような考えを持って練習にのぞんでいけば、もし試合でちょっとしたミスなどで点が入ってしまっても、みんなが嫌にならずに前を向いてあきらめずにサッカーをすることができると考えています。

【物を大事にすること】

最近の練習で見かけるようになってしまったのが、コーンをける・ピブスをその辺にポイ捨てるなどの非常に許せないようなことです。本人たちはこれといって何も意識せずやっていることみたいなのですが、正直言ってそのような選手にはあまりサッカーをやってもらいたくはありません。物を大事にしない選手には感謝の気持ちが足りないと考えているからです。選手達には『なぜ自分がサッカーをできているのか』を難しいで

すが少しでも考えてくれたらと思います。

(近江 柔)

幼児・小 1

【試合に行く途中に…】

最近、試合の機会が増え、出かけることも多くなりました。勿論、サッカーの試合がメインですが、公共交通機関を利用しての移動の間に、子どもたちは様々なことを経験することができます。近頃の子どもたちはほとんどがパスモやスイカといったカードを持っていますので、駅の券売機で切符を購入するという光景がめっきり減りました。それに伴い券売機によるトラブルは減少しています。逆に、カードのタッチが不十分で駅を出る際にゲートに引っかかるということが増えています。そうしたトラブルに際してどのように対処するかといったことを、その都度教えることにしています。駅員さんのいる窓口に行き、事情を説明し、カードの記録を更新してもらい、無事に改札を抜けることができるということをもっと体験してもらいます。

公共のルールについては出発前にきちんと確認します。電車に乗り込む際には降りる人が全員降りてから。車内やホームではふざけたり、走ったり、大きな声で話さないこと。大切なことは他人に迷惑をかけないこと、命が危険にさらされないようにすることです。その場しのぎに、引率者が車内で大声で怒鳴って注意することほどみっともないことはありません。事前にきちんと指導した上で引率するのが指導者の務めでしょう。乗り降りの際には人数確認のために2列に整列することも重要なことです。ホーム上ですから歩いている人や通過する電車にも気を遣いながら、どのように並べばよいか(列を作ればよいか)ということも子どもたちには考えてもらいます。

サッカーの試合が目的とはいえ、未知の町への小旅行ですから、楽しくないはずがありません。子どもたちの多少のテンションの高さには目をつぶりつつ、せつかくのチャンスですから車窓の景色を楽しんだり、電車好きの子の蘊蓄に耳を傾けたりしながら楽しいときが過ごせたらと思います。そんな

ときにグラウンドとは違った一面を見せてくれる子も少なからずいます。電車好きの子は本当に目をキラキラさせながら、すれ違ったり、追い越していったりする車両に釘付けになっています。一人で小さな声で歌を口ずさんでいる子もいます。歌うのが好きなのでしょう。先頭車両や最後尾の車両では運転席のガラスに鈴なりになり、計器類やランプの点滅、そして車掌さんの一挙手一投足に目を凝らします。自らゲームでもしている感覚なのでしょうか。試合会場への道すがら、水たまりの氷や20円のコロッケという看板を発見してはしゃいだりするのも子どもならではの好奇心の表れなのでしょう。こうしたときの子どもの集中力や好奇心を大切にすることが生きる力につながります。

【一つの別れに…】

春は出会いと別れの季節とはよく言われますが、幼児のあるクラブ員がこの3月末でクラブを去ります。多くの1年生が4月には新たにクラブに入会してくれ、新たな出会いが期待できるものと思いますが…。実はこの一つの別れに際して、思うことがあります。彼は2年ほど前に福島から横浜に転入して来ました。3.11の大震災がきっかけでした。震災により津波が発生し、福島第一原子力発電所の原子炉が破壊され、放射能が漏れ出しました。目には見えない放射能は人間の体に大きなダメージを与える恐ろしいものです。特に幼い子どもたちにとっては、甲状腺がんを引き起こす原因ともなると言われています。彼は家族と一緒に恐ろしい放射能から非難してきたのです。

福島第一原発の周辺では、自由に遊びまわったり、ボールを蹴ったりすることが制限されました。普通に生活しているだけで常に放射能の脅威にさらされていたのです。好きなときにボールを蹴ることができ、何の不安もなく外で遊ぶことができる横浜で暮らしている私たちには想像もつかないような恐怖であったはずですが、間もなく、震災から3年が過ぎようとしています。福島が完璧に安全かと言うと、まだ、そうとは言えません。恐らく不自由な生活を強いられることもあるかもしれません。もしかすると、外で自由に

ボールを蹴ることもまだ制限されることがあるかもしれません。

しかし、横浜で一緒にボールを蹴ったかながわクラブの子どもたちはいつまでも仲間です。横浜には何十人もの仲間がいることを忘れないでいてください。仲間が困っていれば、手を差し伸べるのは当たり前です。具体的に何ができるかはわかりませんが、多くの仲間がいることが実感できるだけで、気持ちが強くなります。そして、サッカーを続けていけば、いつかまた、どこかでボールと一緒に蹴ることが絶対にあるはず。それを楽しみにしたいと思います。

横浜に残る私たちは当たり前のように毎日外でボールを蹴ることができる環境に感謝しながら生活しなければならないでしょう。当たり前のように毎日ボールを蹴ることができる幸せを噛み締めながら、そして、一緒にボールを蹴った仲間が福島にいることを常に頭の片隅に置き、どんなときにも精一杯、そして一生懸命にボールを追いかけようにします。

彼のお父さんは、私かながわクラブでサッカーを教えました。決して上手ではなかったと思いますが、家族で横浜に来たことをきっかけに、Papas でサッカーを何十年ぶりかで始めてくれました。一緒にサッカーができることがとても嬉しかったです。残念ながらすぐに私はアキレス腱断裂でプレーができなくなってしまいました…。大人になっても、かながわクラブに戻ってくれば一緒にサッカーができる仲間がいます。サッカーが好きならば上手い下手関係なく何歳になってもサッカーを楽しむ環境があります。かながわクラブはそんなクラブなのです。

(佐藤 敏明)

Papas

【NPO 会員になってください】

とりわけPapasの皆様にお願ひしたいと思いますが、どうぞ「特定非営利活動法人かながわクラブ」の会員になってください。「特定非営利活動法人の会員? ってNPOかながわクラブだろ? もうメンバーじゃん。何の話?」とお思いになる方も多いことと思

ます。サッカークラブとしてのかながわクラブを運営している法人が特定非営利活動法人(NPO)かながわクラブなのです。同じ名前ですが、NPO 法人とその法人が運営しているスポーツクラブという差があります。Papas のメンバーということは、NPO かながわクラブが運営するスポーツクラブのメンバーということです。

私立学校を例にとると、学校法人〇〇学園あるいは学校法人〇〇大学があって、その法人が運営している学校が、〇〇幼稚園、〇〇高校、〇〇大学ということになります。かえってわかりにくかったらごめんなさい。株式会社でいえば、法人としての会社はひとつでも工場はいくつも持っているという関係でしょうか。

お願いしたいのは、この NPO 法人の会員になってくださいということです。

この会員の権利と義務を簡単に説明しますと、義務は年会費 1 万円を納めることで、権利は NPO 法人の総会に出席して議決権を行使できることです。言い換えると NPO 法人を財政的に支援するとともに、法人の理事の選任、予算、決算の承認などに議決権を行使することができ、この法人の経営方針の根幹を決定できるわけです。株式会社でいえば、株主として株主総会に出席するとはいえ、わかりやすいでしょうか。

NPO かながわクラブを財政的に支援し、あなたのご意見を NPO かながわクラブの経営に反映していただだけませんかという願

いでありませぬ。なお、NPO 会員には Papas メンバーのクラブ費の割引の特典があります。

詳細については、内田理事長もしくは茅野までお問い合わせください。NPO 会員になって、かながわクラブを支えて導いてくださいというお願いでした。

(茅野 英一)

ヨーガ

【母親だけのリラックスヨーガ】

かながわクラブは文部科学省からも助成金をいただいて活動をしています。

活動理念や指導内容がしっかりとクラブにしか出ないものですので、流石は我らが「かながわクラブ」という感じがします。

その一環でヨーガに関する活動にも助成金をいただけることになり、『母親だけのリラックス・ヨーガ』を開催する運びとなりました。場所は港北小学校の「地域ふれあいの部屋」をお借りしています。参加料は、もちろん無料。日曜日の朝、下に見える校庭では子供達がサッカー中。その子供達の様子や綺麗な富士山を眺められる暖かいお部屋でノンビリとヨーガを楽しんでいただいています。『実際にやってみないとわからないですね。』『すごく気持ち良かったです。』など、参加された方々から言葉をいただき、うれしいです。子育て中っていろいろなことがありますよね。わかります。だからヨーガでもっと元気になって、明るい笑顔のここにこママ

になっていただきたいと思います。

こちらへの参加申し込みはすでに終了しています。お蔭様で満員御礼状態なのですが、当日お休みをされる方が出て、もしも空があれば参加可能かもしれません。この記事を読んで「参加してみたい！」と思われた方、教室開催日にはぜひ一声スタッフにお声かけくださいませ。

(伊藤 玲子)

【編集部より】

参加をご希望の場合、9:40 頃に港北小の地域ふれあいの部屋においで下さい。当日余裕があれば受講が可能です。

■3 月開講日

10 日(日)・24 日(日) 9:45-10:45

理事長の戯言

【富士山】

先日「母親だけのリラックス・ヨーガ」で、初めて朝から港北小の地域ふれあいの部屋を利用させていただきました。毎月 1 回は、夕方から幹事会やスタッフのミーティングで利用させていただいているのですが、正直目先の打合せの準備に時間を奪われ、外を眺める余裕がありませんでした。

この日、ヨーガの伊藤先生に言われて思い出しました。この部屋からは富士山がきれいに見えることを。校庭で子供たちがサッカー

内田泰嗣税理士事務所

有限会社トップガン (ワン・ストップサービス)

税理士 内田 泰 嗣

横浜市神奈川区入江 2-19-11

〒221-0014 大口増田ビル 203号

TEL (045) 431-0408

FAX (045) 431-0488

伊藤玲子先生のCD新発売！ 聴く！グナヨーガ



★お買い求め方法

①以下の薬局の店頭でご購入いただけます。

光和薬局 神奈川区片倉5-5-1
 ※地下鉄片倉町駅前のARビル1階
 TEL: 045-482-2216

飯田薬局 神奈川区三ツ沢中町7-9
 ※地下鉄三ツ沢下町駅3番出口を右に出て、徒歩5分
 TEL: 045-321-3653

②以下のグナヨーガ公式サイトからご購入いただけます。
<http://www.gunayoga.com>

③アマゾン(amazon)からご購入いただけます。

④アイチューン(iTunes)からご購入いただけます。

各1575円(税込)販売中



日本テレビに出演

一をしているそのはるか先に、富士山がきれいに輝いています。特に冬は格別です。

自分がクラブの専任になり、平日の5・6年生をここで指導するようになった時、いつもこの部屋の前で夕日に染まる富士山を眺めていました。あまりにきれいな時は、子供たちを誘って一緒に眺めたこともありました。

城郷小で校長をされている上岡先生は、当時港北小にお勤めでした。当時からとてもお世話になっていましたが、昨年度大口台小で副校長をされていた時、この景色の話で盛り上がったことなど、とめどなく思い出されます。この景色が、いつまでもずっとこのまま続いてほしいな、と思ったのです。

(内田 佳彦)

かながわクラブ・クラブ員専用の掲示板です。クラブからの重要なお知らせが記載されますので、まめにチェックしていただくと早く正確に情報が伝わります。

<http://8610.teacup.com/kanagawaclub/bbs>



☆ハンドブックについて☆
 携帯で見られるように作成いたしました。下記の URL をクリックしてご覧ください。

クラブの理念や指導方針、各種手続き方法、注意事項、スタッフの紹介など重要な情報満載です。是非ご一読下さい。

http://www.kanagawaclub.com/HB/youji_shougakusei.html



スポーツ大好き人間のお店
 横浜アンドウスポーツ **ANDOU**

至三ツ沢競技場

保土ヶ谷警察署 コーナン	国道16号 保土ヶ谷区役所	出光 GS
相鉄線星川駅 至横浜		
いなげや	マクドナルド ザンクス	
交番		
アンドウスポーツ 駐車場完備(20台) 至保土ヶ谷公園	メインマート セブンイレブン 保土ヶ谷 SPC	至国道1号

※相鉄線星川駅下車3分・横浜新道藤塚インターより5分

アンドウスポーツ
 〒240-0006 横浜市保土ヶ谷区星川2-6-30
 ☎045-331-2461
<http://www.sports-nakama.com/as/>

スポーツで日本を元気にしよう！
スクール生募集中！

キッズ (小学生) 平日 15:45~、16:35~ ジュニア (中高生) 平日 17:25~



紫外線100%カット！
開閉式テントリニューアル



ポイント①
 学期中なら振替は
 『何回でも』OK!!

ポイント②
 インドアのオムニコート
 実践的な4面フルコート

横浜テニスカレッジ・横浜ゴルフアカデミー<白楽校>



〒221-0075 横浜市神奈川区白幡上町9-23
 東急東横線白楽駅下車 徒歩3分
 TEL 045-433-6622